

日本福祉のまちづくり学会 第14回全国大会（堺）

プログラム概要集

移動の自由がつむぐ心豊かな社会ーひと・まち・文化ー
災害に強いまちづくりをめざして

会期：2011年8月27日（土）～29日（月）

会場：国際障害者交流センター「ビッグ・アイ」

主催：  一般社団法人 日本福祉のまちづくり学会
Japanese Association for an Inclusive Society

目 次

1. 学会長挨拶・実行委員長挨拶	1
2. 開催概要	2
3. 市民公開シンポジウム	8
4. 研究討論会	11
5. 見学会	15
6. 大会プログラム	18
7. 研究発表プログラム	19
8. 広告協賛	27
9. 実行委員スタッフ	31

■ 学会長 挨拶 – わくわくドキドキ堺大会に寄せて –

日本福祉のまちづくり学会学会長 東洋大学教授 高橋 儀平

第14回全国大会が無事に開催されますことを心からお慶び申し上げますとともに、これまで約2年間にわたる大会準備にご尽力いただきました三星昭宏大会長、新田保次大会実行委員長を始め、多くの実行委員の皆様にご心より感謝申し上げます。

さて、今回は久しぶりの関西大会です。第2回大会(1999.7)が開催されてから実に12年ぶりですので、まずこれに「わくわく」です。残暑の厳しいさなかではありますが、歴史的文化と伝統を育てて来られた堺市において、日頃の皆さんの取り組みについて熱い議論が展開されることを大変楽しみにしています。つぎに「ドキドキ」です。今年は本学会の新たな出発の年にあたります。本年2月一般社団法人への移行が正式に決まり、6月には新体制が発足しました。全国から選ばれた36名の代議員の皆様と共に学会運営にあたります。法人発足の1年目であり多くの皆様にご心配やご負担をおかけしていることと思っておりますが、本学会はさらなる発展を目指します。

さる3月11日に発生した東日本大震災は、現代の社会構造を根底から問い直す契機になっています。堺大会が国民一人ひとりの生活と進むべき社会の有り様を考える契機になることを強く望みます。これからもどうぞ学会活動への変わらぬご参加、ご支援を賜りたいと存じます。

■ 第14回全国大会開催にあたって

第14回全国大会実行委員長 大阪大学大学院教授 新田 保次

日本福祉のまちづくり学会第14回全国大会(堺)にご参加いただきありがとうございました。まずもって、この度の未曾有の震災の犠牲になられた方にお悔やみを申し上げるとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

さて、開催地・堺はご存知のように、仁徳陵古墳のある日本の古都であり、千利休が生まれ、与謝野晶子が活躍した文化の街、鉄砲鍛冶から内刃物、自転車につながる産業の街としても有名で、「物の始まりや なんでも堺」とうたわれています。このような堺において、しかも、障がい者の一層の社会参加を願って創られた「国際障害者交流センター ビッグ・アイ」にて本大会が開催されることを誇りに思っています。

本大会のキャッチフレーズは、「移動の自由がつむぐ心豊かな社会ーひと・まち・文化ー災害に強いまちづくりを目指して」です。心身的な都合により何らかの移動制約を持った人たちも含めてすべての人たちが、自由に移動できるまちづくりを目指して、しかも災害に負けないまちづくりを目指して、本大会で皆様がたが活発に交流し貴重な知見が得られることを期待しています。

最後に、本大会の開催にあたり、学会関係者はもとより、地元の堺市をはじめ多くの企業、行政、各種団体などにお世話になりました。この場をお借りし深甚より感謝いたします。

開催概要

■ 大会テーマ

移動の自由がつむぐ心豊かな社会 -ひと・まち・文化- 災害に強いまちづくりをめざして

■ 会期

2011年8月27日(土) ～ 29日(月)

■ 会場

国際障害者交流センター 「ビッグ・アイ」
(大阪府堺市南区茶山台1-8-1)

■ 主催

日本福祉のまちづくり学会 (担当：関西支部)

大会長：三星 昭宏 (近畿大学特任教授)

実行委員長：新田 保次 (大阪大学大学院教授)

■ 後援

内閣府、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、近畿運輸局、近畿地方整備局、大阪府、堺市、交通エコロジー・モビリティ財団、(財)国土技術研究センター、兵庫県立福祉のまちづくり研究所、日本建築学会、土木学会、日本リハビリテーション工学協会、(社)建設コンサルタンツ協会近畿支部

■ 協賛団体

(株)キクテック、関西電力(株)、(株)nanoda、IDEC(株)、
(財)災害科学研究所 交通まちづくり学研究会、国際航業(株)、(株)日建設計総合研究所、
パシフィックコンサルタンツ(株)、八千代エンジニアリング(株)、(株)シマノ、
(株)建設技術研究所、(株)サーベイリサーチセンター、茂松整形外科

■ 広告協賛団体

(株)キクテック、(株)建設技術研究所、(株)修成建設コンサルタント、
(株)サーベイリサーチセンター

■ 展示協賛団体

(株)キクテック、(株)建設技術研究所、国際航業(株)、篠原電機(株)、(株)日建設計総合研究所

■ 大会趣旨

この度、日本福祉のまちづくり学会第14回全国大会を堺市にて開催させていただくこととなりました。全国大会は1997年に始まり、その後、福祉のまちづくりに関する総合的な研究発表および地域情報発信の場として発展してまいりました。多くの分野の関係者が一堂に会し、福祉のまちづくりに関する発表や交流の場を持つことは極めて意義のあることであり、今後のわが国の福祉のまちづくり活動の質的向上に大きく貢献するものと存じます。

本全国大会のキーワードは「移動の自由がつむぐ心豊かな社会—ひと・まち・文化—災害に強いまちづくりをめざして」です。交通基本法の制定を控え、移動の自由がつむぐ心豊かな社会のあり方について、福祉のまちづくりの先進的な取り組みを行ってきた歴史文化都市・堺で議論することをねらいとしております。

■ 全体プログラム

日 時		プ ロ グ ラ ム			
27日 (土)	9:00~	受付開始			
	10:00~11:00	研究発表 (口頭)			
	11:15~12:30	研究発表 (口頭)			
	13:30~14:30	研究発表 (口頭)	ポスター展示	展示	
	14:45~16:00	研究発表 (口頭)			
	16:15~17:45	研究発表 (口頭)	ポスターセッション 16:00~17:45		
	18:00~20:00	交流会			
28日 (日)	9:30~10:45	研究討論会	研究発表会 (口頭)	ポスター展示	展示
	11:00~12:30	研究討論会	研究発表会 (口頭)		
	14:00~16:30	市民公開シンポジウム			
29日 (月)	9:30~11:00	見学会			
	13:30~15:00				

■ 参加費

・大会参加費

会員区分	大会参加費（※）	交流会参加費
一般会員	7,000 円	5,000 円
学生会員	2,000 円	3,000 円
法人会員	7,000 円	5,000 円
非会員（一般）	10,000 円	5,000 円
非会員（学生） 証明書の呈示必要	3,000 円	3,000 円

※概要集 CD-ROM の代金を含む

※法人会員 1 口につき 1 名が会員価格

・見学会参加費： 14～16 ページ参照

■ 問い合わせ先

日本福祉のまちづくり学会全国大会事務局 担当 飯田克弘・猪井博登

E-mail : sakai2011@civil.eng.osaka-u.ac.jp

TEL : 06-6879-7610 FAX : 06-6879-7612

住所 : 〒565-0871 吹田市山田丘 2-1

大阪大学大学院工学研究科地球総合工学専攻内交通・地域計画学領域

■ 会場までの交通手段

最寄駅：泉北高速鉄道「泉ヶ丘」駅下車、約 200m

泉ヶ丘駅までの主な経路と所要時間

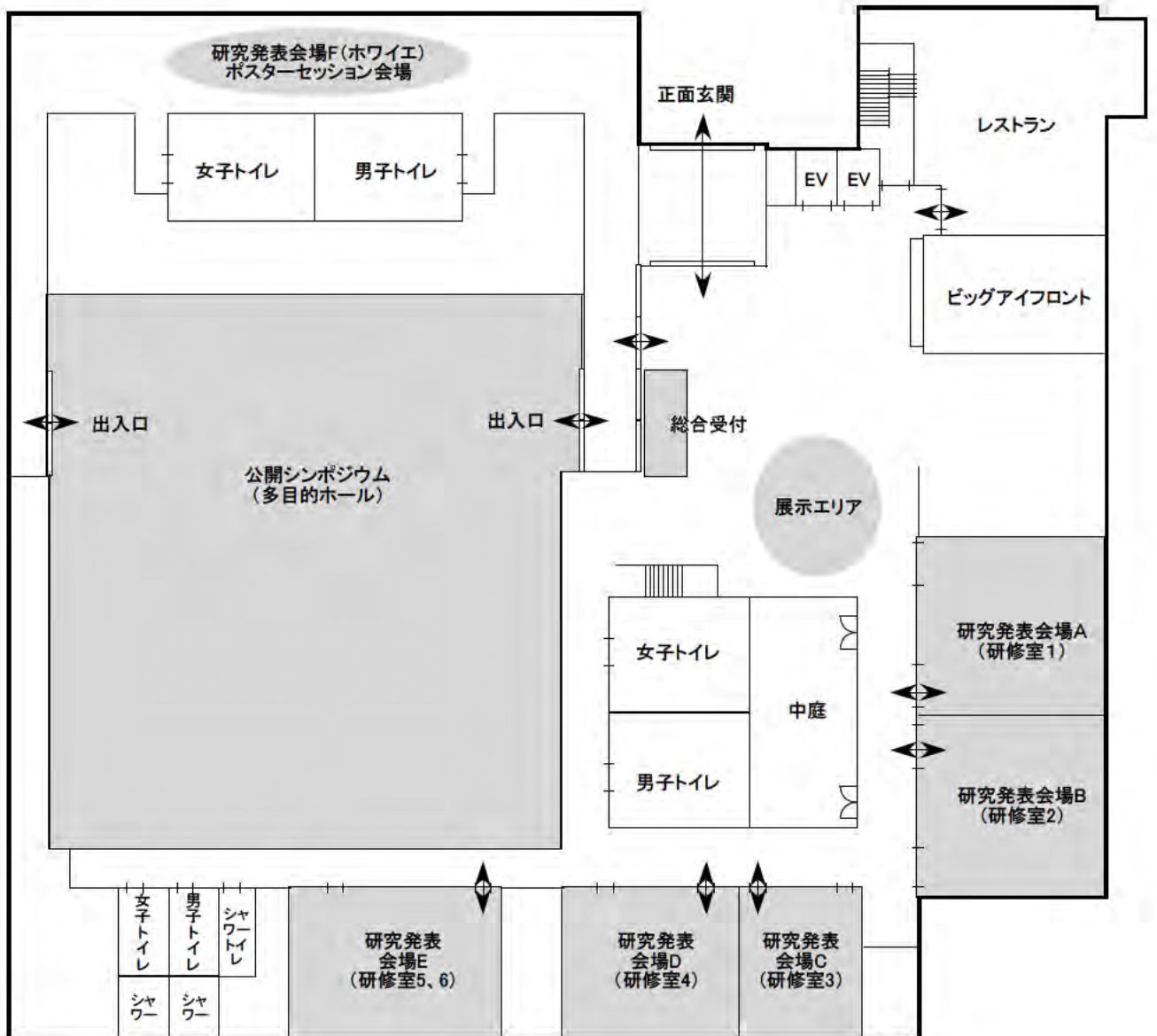
- ・関西空港から泉ヶ丘行リムジンバスに乗車（約 60 分）（リフトの設備はありません）
- ・関西空港から JR 阪和線関空快速で「三国ヶ丘」駅下車、南海高野線と泉北高速鉄道に乗り継ぎ（約 1 時間）
- ・新大阪から地下鉄御堂筋線なかもず行で「なかもず」駅下車、泉北高速鉄道に乗換え（約 1 時間）
- ・新大阪から JR 東海道線に乗車、「大阪」駅で大阪環状線普通または快速の内回りに乗換え「新今宮」駅下車、南海高野線と泉北高速鉄道に乗り継ぎ（約 1 時間）
- ・難波から南海高野線・泉北高速鉄道直通準急 和泉中央行に乗車（約 30 分）

■ 泉ヶ丘駅からのアクセス

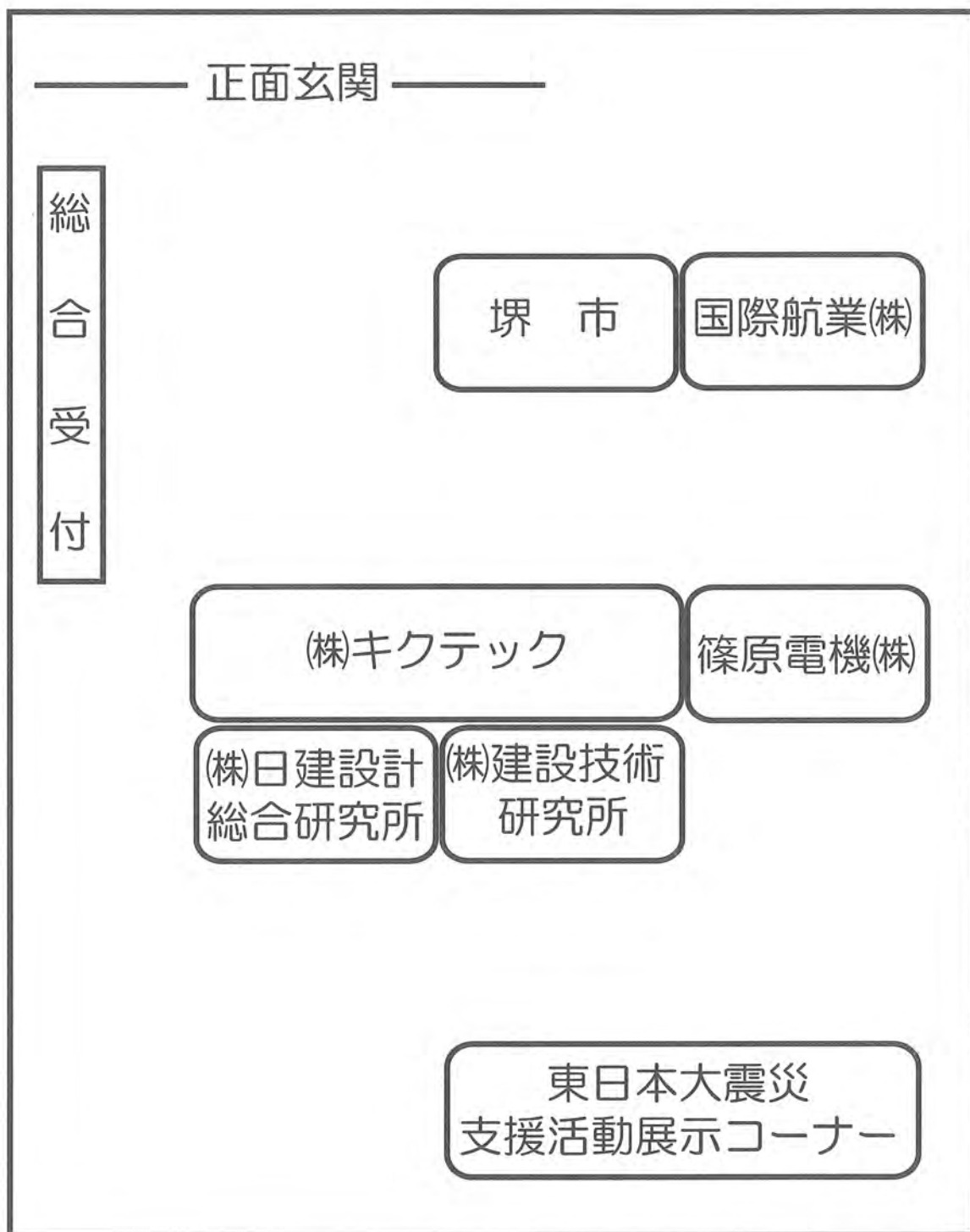


(出典：ビッグ・アイ ホームページ <http://www.big-i.jp/>)

■ 会場案内図



■ 展示ブース案内図



市民公開シンポジウム

日時：2011年8月28日（日）14:00～16:30（13:15 開場）

場所：ビッグ・アイ 大ホール

1. 趣 旨

本年は、2000年の交通バリアフリー法施行から10年が経過した節目の年であるとともに、交通基本法の制定が期待される年にも当たります。そこで、本シンポジウムでは“移動の自由”に焦点をあてて、将来世代に向けて心豊かな社会－ひと・まち・文化－を構築していくための今後のまちづくりについて考えます。また、3.11に発生した東日本大震災を受けて、平常時のみならず非常時においても移動の自由が確保される災害に強いまちづくりについてもあわせて考えます。

2. プログラム

(1) 開 会 14:00～14:10

あいさつ 竹山 修身 氏（堺市長）

(2) 基調講演 14:10～15:10

タイトル 子供たちに輝く未来を～すべての人が誇りを持って生きられる社会に～

講演者 竹中 ナミ 氏（社会福祉法人プロップ・ステーション理事長）

－休憩（10分）－

(3) パネルディスカッション 15:20～16:20

テーマ 「移動の自由がつむぐ心豊かな社会－ひと・まち・文化－

災害に強いまちづくりを目指して」

コーディネーター： 新田 保次 氏（大阪大学大学院教授、日本福祉のまちづくり学会副会長）

パネラー： 荻田 俊昭 氏（堺市建築都市局長）

竹中 ナミ 氏（社会福祉法人プロップ・ステーション理事長）

辻 一 氏（社団法人大阪脊髄損傷者協会会長、

ビッグ・アイ（国際障害者交流センター）館長）

秋山 哲男 氏（北星学園大学客員教授、日本福祉のまちづくり学会副会長）

三星 昭宏 氏（近畿大学特任教授）

(4) 閉 会 16:20～16:30

堺からのメッセージ 新田 保次 氏（前掲、堺大会実行委員長）

3. 基調講演者のプロフィール

竹中 ナミ 氏（ニックネーム：ナミねえ）



- ・ 社会福祉法人プロップ・ステーション 理事長
- ・ 神戸市立本山中学校卒。重症心身障害の長女（現在 38 歳）を授かったことから、独学で障害児医療・福祉・教育を学ぶ。
1991 年、草の根のグループとしてプロップ・ステーションを発足、98 年厚生大臣認可の社会福祉法人格を取得、理事長に。
- ・ ICT を駆使してチャレンジド（障害を持つ人の可能性に着目した、新しい米語）の自立と社会参画、とりわけ就労の促進を支援する活動を続けている。
- ・ 「チャレンジドを納税者にできる日本」をスローガンに、95 年より毎年チャレンジド・ジャパン・フォーラム（CJF）国際会議を主宰。
- ・ 内閣官房雇用戦略対話委員、社会保障国民会議委員、財務省財政制度審議会委員、総務省情報通信審議会委員、内閣府中央障害者施策推進協議会委員、国土交通省「自律移動支援プロジェクト」スーパーバイザー、などを歴任。
- ・ 2009 年春、米国大使館より「勇気ある日本女性賞」を授与さる。同年天皇皇后両陛下より「春の園遊会」に招かれる。2010 年 6 月には NHK 経営委員に就任。
- ・ 主な著書に「プロップ・ステーションの挑戦」（筑摩書房）、「ラッキーウーマン～マイナスコソプラスの種」（飛鳥新社）など。

4. コーディネーター・パネラーのプロフィール

◆コーディネーター

新田 保次（にった やすつぐ）氏

- ・ 大阪大学大学院工学研究科地球総合工学専攻教授（工学博士）。
- ・ 主な著書に、「まちづくりのための交通戦略－パッケージ・アプローチのすすめ」（学芸出版社）、「日本の交通バリアフリー～理解から実践へ」（学芸出版社）、「新しい自治体の設計 3 持続可能な地域社会のデザイナー－生存とアメニティの公共空間」（有斐閣）、「交通混雑の経済分析－ロードプライシング研究」（勁草書房）など。
- ・ 環境と福祉を統合した持続可能な交通まちづくりを研究中。

◆パネラー

荻田 俊昭（おぎた としあき）氏

- ・ 堺市建築都市局長。
- ・ 堺市東区在住。昭和 49 年に堺市に入庁後、建築課長、都心まちづくり推進室長などを歴任。平成 22 年より現職。

竹中ナミ氏

- ・ 社会福祉法人プロップ・ステーション理事長。基調講演者のプロフィールに同じ。

辻 一（つじ まこと）氏

- ・ 社団法人大阪脊髄損傷者協会会長。ビッグ・アイ（国際障害者交流センター）館長。
- ・ 25 歳のときに、交通事故で車いす生活に。アメリカ、カナダ他で、障害のある人が生活を上手に行う、人生をよりよくするためのトータル・リハビリテーション訓練の方法を学ぶ。
- ・ 信条は「自分の良心に基づいた、自分の判断と責任による、自らの積極的行動」。

秋山 哲男（あきやま てつお）氏

- ・ 日本福祉のまちづくり学会副会長、北星学園大学客員教授（工学博士）。前首都大学東京 都市環境学部教授。2006 年に世田谷区まちづくり功労賞受賞。
- ・ 主な著書に、「都市交通のユニバーサルデザインー移動しやすいまちづくり」（学芸出版社）、「観光ユニバーサルデザイン」（学芸出版）など。

三星 昭宏（みほし あきひろ）氏

- ・ 近畿大学工学部社会環境工学科特任教授（工学博士）。前日本福祉のまちづくり学会会長
- ・ 2000 年に施行された「交通バリアフリー法」の成立に尽力。2004 年に浜松で開催された第 10 回 TRANSED（高齢者・障害者交通国際会議）では大会長を務める。
- ・ 主な著書に、「日本の交通バリアフリー」（学芸出版社）など。

研究討論会

特別研究討論会「東日本大震災経て一福祉・まちづくりの新生に向けて」

開催日時：2011年8月28日（日）

第1セッション（9:30～10:45） 第2セッション（11:00～12:30）

開催場所：研究発表会場 A（研修室1）

1. 趣旨

東日本大震災は未曾有の甚大な被害を我が国にもたらしました。しかし、国・自治体・市民・研究者が総力を挙げて復旧、復興に向けて歩みだしています。そのような中、本研究討論会では当事者の視点から、また各分野の専門家の視点から被災地、被災者の状況を再確認し、情報を共有した上で、今後の被災地・被災者支援の在り方ならびに単なる復旧ではなく福祉・まちづくりの新生に向けた取り組みについて討議します。

2. 講演者

第1セッション「当事者団体の視点から見た被災地と被災者支援」

オーガナイザー：秋山 哲男 氏（北星学園大学客員教授）

講演者①：重度障がい者支援の立場から

水谷 真 氏（社会福祉法人 AJU 自立の家）

講演者②：視覚障がい者支援の立場から

川越 利信 氏（JBS 日本福祉放送、社会福祉法人 視覚障害者文化振興協会、
東日本大震災視覚障害被災者支援ネットワーク『インタッチ』）

第2セッション「専門家の視点から見た被災地と被災者支援」

オーガナイザー：秋山 哲男 氏（北星学園大学客員教授）

講演者①：被災の状況と復興へ向けての現状-岩手県からの報告

狩 野 徹 氏（岩手県立大学教授）

講演者②：被災の状況と復興へ向けての現状-宮城県からの報告

岡 正 彦 氏（東北福祉大学准教授）

講演者③：障がい児者教育現場の視点から見た被災地と被災者支援

永井 伸幸 氏（宮城教育大学准教授）

講演者④：移動・交通の視点から見た被災地と被災者支援

山 田 稔 氏（茨城大学准教授）

研究討論会1 「交通バリアフリーの総括」

開催日時：2011年8月28日（日）9:30～10:45

開催場所：研究発表会場B（研修室2）

1. 趣旨

我が国では、平成12年に交通バリアフリー法が制定され、さらに平成18年に交通バリアフリー新法が施行されました。これを受けて、市町村が主体となって、高齢者、障害者等の円滑な移動及び建築物等の施設の円滑な利用の確保に向けて、高齢者、障害者等の計画段階からの参加を得ながら、旅客施設、建築物等及びこれらの間の経路の一体的なバリアフリー整備が進められてきました。本研究討論会では、交通バリアフリー法施行後の“これまでの10年の取組み”を振り返り総括するとともに、今後の10年に向けた視座、目標等について討議します。

2. 講演者

オーガナイザー：山田 稔 氏（茨城大学准教授）

1) 交通バリアフリーの成果と展望 ～政策推進の視点から～

講演者①：交通バリアフリーの整備状況と課題／

林 隆 史 氏（財団法人国土技術研究センター首席研究員）

講演者②：豊中市における交通バリアフリーの取組み成果と今後の展開／

山本 幸久 氏（豊中市都市基盤部長）・杉田 芙紗子 氏（同都市基盤部道路建設課）

2) 交通バリアフリー社会の現在と未来 ～当事者の立場から～

講演者③：車いす利用者の立場から

坂上 正司 氏（関西学院大学非常勤講師、全国頸髄損傷者連絡会副会長）

講演者④：視覚障がい者の立場から

長井 敬二 氏（吹田 RP（網膜色素変性症）の会の代表、
吹田市バリアフリー懇談会委員）

研究討論会2 「障害者差別禁止法」

開催日時：2011年8月28日（日）11:00～12:30

開催場所：研究発表会場B（研修室2）

1. 趣旨

障害者を「対策」の対象とみなしてきた「心身障害者対策基本法」が、ノーマライゼーション理念に基づき、自立と社会参加の実現をめざし「障害者基本法」として1993年に改編されて以降、幅広い分野で法制度が整備されてきました。特に公共的施設のバリアフリー化と交通・移動の確保に関しては、1995年にハートビル法、2000年に交通バリアフリー法、さらには2008年にはバリアフリー新法が施行されるなど、施設のバリアフリー化を促進するための法整備は一定の進展が見られました。しかしながら、施設のバリアフリー化が進んでも障害者の利用を拒否するといった問題は依然としてあり、障害当事者の取り巻く状況はまだまだ厳しい状況にあります。現在政府は、国連障害者権利条約の締結に必要となる国内法の整備にむけて「障がい者制度改革推進会議」を設置し、差別禁止法の創設をはじめとする各種検討が進められているが、障害当事者が地域社会において自立した暮らしを実現していくためには、あらゆる人々が障害当事者の取り巻く状況を認識し具体的な実践が不可欠です。よって、本討論会において、障害当事者が地域で直面している現状を今一度確認するとともに、差別禁止法に求められる内容、さらには、今後の取組みの方向性などについて幅広く討論し、その結果を社会還元していくことを目的とします。

2. 講演者

オーガナイザー：辻 一 氏（社団法人大阪脊髄損傷者協会会長、ビッグ・アイ館長）

1) 障害者差別禁止法の検討状況

講演者①：政策推進の視点から

北野 誠一 氏（内閣府障がい者制度改革推進会議委員、
おおさか地域生活支援ネットワーク理事長）

2) 障害当事者の取り巻く現状

講演者②：ハンドル型車いす利用者の立場から

山 名 勝 氏（大阪市身体障害者相談員）

講演者③ 視覚障がい者の立場から

三原ひろみ 氏（すいた自立支援センター ねばーらんど）

研究討論会 3 「交通基本法」

開催日時：2011年8月28日（日）11:00～12:30

開催場所：研究発表会場 C（研修室 3）

1. 趣旨

交通基本法については、中間とりまとめとパブリックコメントを経て、現在、制定を目指して進められており、本年は施行元年となるものと期待されています。この研究討論会では、交通基本法の背景や内容について理解を深めるとともに、福祉のまちづくりにおける影響や効果、今後の展望等について討議することを目的とします。

2. 講演者

オーガナイザー：吉田 樹 氏（首都大学東京助教）

1) 交通基本法とは

講演者①： 浪越 祐介氏（近畿運輸局企画観光部交通企画課課長）

2) 福祉のまちづくりにおける影響と効果

講演者②：交通基本法下での地域交通施策

吉田 樹 氏（首都大学東京助教）

講演者③：福祉有償運送の現場からの意見

柿久保浩次 氏（関西 STS 連絡会）

講演者④：フランス交通法制度と交通権の発展について

南 総一郎 氏（あおぞら財団特別研究員（エコノミスト））

見学会

開催日：2011年8月29日（月）

■ Aコース：誰でも楽しめます！ ユニバーサル・サイクル体験会

● 概要

サイクリングが好きな方は勿論、視覚に障害のある方や脚力の弱い方でも誰でも楽しめるタンDEM自転車（二人乗り自転車）やハンドサイクル（手こぎ自転車）の体験会です。自転車のまち・堺と一緒に風をきって走りませんか。当日は、堺港周辺（旧堺灯台辺り、往復2km程度のコース）をタンDEM自転車10台、ハンドサイクル2台を順番に乗って楽しめます。

● 募集要項

日 時：2011年8月29日（月）9：30～11：00（受付9：00～）

参加費：500円（当日現地払い）

定 員：20名（先着順）

走行場所：堺港周辺（旧堺灯台辺り、往復2km程度のコース）

● イベントの申込み・お問合せ

下記ホームページより、お申込みフォームをご利用ください。

http://sky.geocities.jp/cycletown_osaka/fukushitaikai.htm

※イベント名の欄に「福祉のまちづくり学会全国大会（堺）」とご入力ください。↓

お問い合わせ／事務局：あおぞら財団内（担当：藤江、相澤）

TEL：06-6475-8885、FAX：06-6478-5885、Email：webmaster@aozora.or.jp

● 主催：自転車文化タウンづくりの会 http://sky.geocities.jp/cycletown_osaka/

● 協力：大阪でタンDEM自転車を楽しむ会

<参加団体>

- ・ サイクルボランティア・ジャパン <http://www.cvjapan.org/w/>
- ・ 社会福祉法人日本ライトハウス <http://www.lighthouse.or.jp/>
- ・ 日本サイクルスポーツ発展協力者会 ・ あおぞら財団 <http://aozora.or.jp/>
- ・ 自転車文化タウンづくりの会 http://sky.geocities.jp/cycletown_osaka/
- ・ ハンドサイクルの「ちゃりラボ」 http://d.hatena.ne.jp/Chari_Lab/

● 注意事項

猛暑が予想されますので、帽子や飲み物など、各自でご持参ください。

自転車に乗りやすい、動きやすい服装でお越しください。

(軍手、ズボンの裾を止めるバンドなどがあると便利です。)

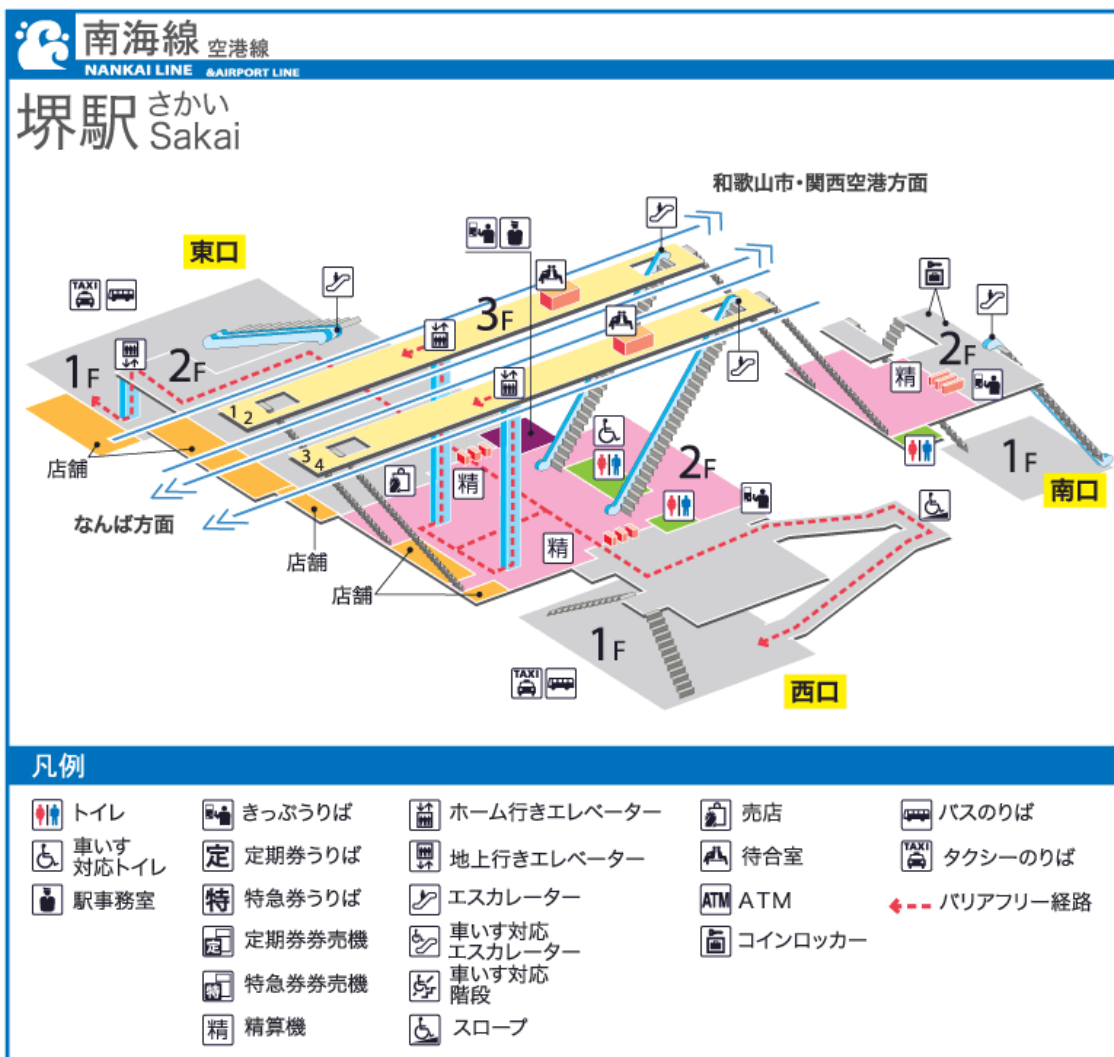
前日の17時の時点で当日の降水確率が70%以上の場合は中止いたします。

● 集合場所：南海本線堺駅西口改札前

9:00 に堺駅西口改札前に集合いただき、走行場所まで案内スタッフが誘導します。

帰りについては、走行場所での全体解散後、堺駅西口、または、東口改札前（Bコース集合場所）まで案内スタッフが誘導します。

● 参考（堺駅構内図）



出典：南海電鉄ホームページ

■ B コース：まち歩きツアー

「観光ガイドとめぐる千利休生誕地”堺”～茶の湯文化に華を添えた和菓子探訪～」

● 概要

茶の湯文化に華を添えた数々の和菓子。中世に南蛮から砂糖が津伝来すると共に、堺では和菓子産業が盛隆を極めました。千利休をはじめ数々の茶人が愛した銘菓は、今でもこの地で受け継がれています。今回のまち歩きツアーでは堺市内で愛される和菓子の名店を歩いてめぐり、伝統の味を楽しんでいただきます。

所要時間：約 2 時間

移動距離：約 3.5km

和菓子つまみ食い：3～4 種類程度を予定

● 募集要項

日 時：2011 年 8 月 29 日（月） 13:30～15:00

参加費：3,000 円（当日現地払い）

定 員：10 名（先着順、最小催行人数：5 名）

● イベントの申込み・お問合せ

下記ホームページより、お申込みフォームをご利用ください。

<https://sites.google.com/site/hukumachi/>

※ 約 3.5km のまち歩きに自信のない方もご相談ください。スタッフが出来る限りフォローアップいたします。

※ ツアー予定日の 8 日前までお申込みを受け付けております。

※ 定員に達し次第、受付を終了させていただきますので、お早目にお申込みください。

※ ツアー予定日の 8 日前に最少催行人数に満たない場合、ツアーを中止いたします。

● ツアー主催・お問合せ

株式会社インプリージョン 大阪府知事登録旅行業第 3-2593 号

大阪市阿倍野区阿倍野筋 2-4-48 金村ビル 3F TEL: 06-6624-8555

● 集合場所

13:30 南海本線堺駅 東口改札前集合

15:00 頃 南海本線堺駅 東口付近解散

時分		行事		研究発表会場																										
				展示会 (エントランスホール) 【市民開放】																										
				受付開始																										
9:30																														
13:30~17:45																														
		会場		研究発表会場A (研修室1)				研究発表会場B (研修室2)				研究発表会場C (研修室3)				研究発表会場D (研修室4)				研究発表会場E (研修室5)				会場F (お礼)						
				セッション番号	発表者数	セッション名	発表者数	セッション名	発表者数	セッション名	発表者数	セッション名	発表者数	セッション名	発表者数	セッション名	発表者数	セッション名	発表者数	セッション名	発表者数	セッション名	発表者数	セッション名	発表者数	セッション名	発表者数	セッション名	発表者数	
10:00~11:00		研究発表 I 1		I 1A	4編	阪根千佳 (株式会社ユーザビリティ)	4編	光澤勇・誘導	4編	土井 正 (大阪市立大)	4編	古瀬敏 (神戸大学)	4編	壺口隆三 (西日本工業大)	4編	山田 稔 (茨城大)	4編	伊田大輔 (交通工科大学)	4編	伊田大輔 (交通工科大学)	4編	伊田大輔 (交通工科大学)	4編	伊田大輔 (交通工科大学)	4編	伊田大輔 (交通工科大学)	4編	伊田大輔 (交通工科大学)	4編	伊田大輔 (交通工科大学)
11:00~11:15		休憩・移動																												
11:15~12:30		研究発表 I 2		I 2A	5編	二瓶美里 (東京大学大学院)	5編	視覚障害者と 誘導支援①	5編	原 利明 (鹿島建設)	5編	視覚障害者と 誘導支援②	5編	原 利明 (鹿島建設)	5編	視覚障害者と 誘導支援③	5編	佐藤武志 (日本女子大)	5編	佐藤武志 (日本女子大)	5編	佐藤武志 (日本女子大)	5編	佐藤武志 (日本女子大)	5編	佐藤武志 (日本女子大)	5編	佐藤武志 (日本女子大)	5編	佐藤武志 (日本女子大)
12:30~13:30		昼食																												
13:30~14:30		研究発表 I 3		I 3A	4編	権結 努 (兵庫県立福祉のまちづくり研)	4編	視覚障害者と 誘導支援④	4編	神吉慶美 (東洋大学)	4編	視覚障害者と 誘導支援⑤	4編	神吉慶美 (東洋大学)	4編	視覚障害者と 誘導支援⑥	4編	壺口隆三 (西日本工業大)	4編	壺口隆三 (西日本工業大)	4編	壺口隆三 (西日本工業大)	4編	壺口隆三 (西日本工業大)	4編	壺口隆三 (西日本工業大)	4編	壺口隆三 (西日本工業大)	4編	壺口隆三 (西日本工業大)
14:30~14:45		休憩・移動																												
14:45~16:00		研究発表 I 4		I 4A	5編	磯部支彦 (中部大学)	5編	誘導・歩行・擬 似体験	5編	江守 央 (日本大学)	5編	災害・震災	5編	江守 央 (日本大学)	5編	災害・震災	5編	川内美彦 (東洋大学)	5編	川内美彦 (東洋大学)	5編	川内美彦 (東洋大学)	5編	川内美彦 (東洋大学)	5編	川内美彦 (東洋大学)	5編	川内美彦 (東洋大学)	5編	川内美彦 (東洋大学)
16:00~16:15		休憩・移動																												
16:15~17:45		研究発表 I 5		I 5A	6編	阪東美智子 (国立兵庫健康科学学院)	6編	建築・住環境 ③(UD・海外・他)	6編	大塚敏彦 (国立明石工業高等専門学校)	6編	建築・住環境 ④(ペント・ADL・他)	6編	大塚敏彦 (国立明石工業高等専門学校)	6編	建築・住環境 ⑤(ペント・ADL・他)	6編	大塚敏彦 (国立明石工業高等専門学校)	6編	大塚敏彦 (国立明石工業高等専門学校)	6編	大塚敏彦 (国立明石工業高等専門学校)	6編	大塚敏彦 (国立明石工業高等専門学校)	6編	大塚敏彦 (国立明石工業高等専門学校)	6編	大塚敏彦 (国立明石工業高等専門学校)	6編	大塚敏彦 (国立明石工業高等専門学校)
17:45~18:00																														
18:00~20:00		交流会 (大ホール)																												
9:30~17:00		展示会 (展示ギャラリー)		【市民開放】																										
9:30~10:45		研究発表 II 1		東日本大震災				交通/バリアフリーの総括				東日本大震災				東日本大震災				東日本大震災				東日本大震災				ポスター展示		
10:45~11:00		休憩																												
11:00~12:30		研究発表 II 2		東日本大震災				交通基本法				東日本大震災				東日本大震災				東日本大震災				東日本大震災				ポスター展示		
12:30~14:00		昼食																												
14:00~16:30		公開シンポジウム (大ホール)		【市民開放】																										

27日(土)		A会場 研修室1			
日時	セッション		演題名	発表者	所属
10:00 ~ 11:00 60分	I 1 A 福祉機器① (ユーザビリティ)	10:00~	点字と情報通信の現状と課題	久保雅義	京都工芸繊維大学
		10:15~	認知高齢者時代の家電製品に求められる要件の考察	久保雅義	京都工芸繊維大学
		10:30~	自動販売機の操作性に関する研究(第2報) ー操作部の高さに関する考察ー	高橋良至	東洋大学
		10:45~	汎用コミュニケーションエイドVCAN/1Aのカスタマイズ支援システムの開発	伊藤 涼	新潟大学大学院 自然科学研究科
11:15 ~ 12:30 75分	I 2 A 福祉機器② (心身負担)	11:15~	心拍変動を用いた車いす使用者のストレス計測に関する研究	石田真二	北海道工業大学 都市環境学科
		11:30~	建築・都市空間設計用の体温調節モデルにおける脊損者の呼吸に伴う熱移動の検討	堀 慎輔	兵庫県立大学大学院 環境人間学研究所
		11:45~	車いす乗車人体および各部位の放射・対流熱伝達率の測定	永田太陽	兵庫県立大学大学院 環境人間学研究所
		12:00~	道路の横断勾配と波打ちによる車いす使用者の身体的負担への影響	橋詰 努	兵庫県立福祉のまちづくり研究所
		12:15~	アクセルとブレーキの踏み間違いのないワンペダル装着者の評価	西島衛治	九州看護福祉大学 大学院
13:30 ~ 14:30 60分	I 3 A 福祉機器③ (その他)	13:30~	電動車イス利用者のバリア認識に関する基礎的研究	江守 央	日本大学理工学部 社会交通工学科
		13:45~	高齢者等の外出支援のための電動アシスト式4輪型移動支援機器の開発(第2報)	米田郁夫	東洋大学ライフデザイン学部
		14:00~	知的障害者及び発達障害者のための福祉用具の給付2ー全国市町村調査ー	松井宏昭	特定非営利活動法人 自閉症サポートセンター
		14:15~	知的障害者及び発達障害者のための福祉用具の給付3ー震災に関連してー	増澤高志	生活工房
14:45 ~ 16:00 75分	I 4 A 誘導 歩行 疑似体験	14:45~	光による緊急情報伝達の可能性について ーその2 点滅による「気づきやすさ」の評価実験ー	今井 計	筑波技術大学産業技術学部産業情報学科
		15:00~	光による緊急情報伝達の可能性について ーその3 点滅による「緊急度」及び「避難の必要性」の評価実験ー	桜庭晶子	筑波技術大学
		15:15~	滑り摩擦係数の異なる路面の歩行挙動分析	木村有希	株式会社キクテック
		15:30~	高齢者疑似体験シニアシミュレーションコーナーの拡充について(その2)	小太刀一光	東京ガス株式会社
		15:45~	高齢者疑似体験装置を援用した公共施設間の歩行調査に関する一考察	坂本 淳	岐阜工業高等専門学校

27日(土)		B会場 研修室2		
日時	セッション	演題名	発表者	所属
10:00 ～ 11:00 60分	I 1 B 光環境 誘導	10:00～ ロービジョン者の夜間歩行を支援する懐中電灯の試用評価	大森清博	兵庫県立福祉のまちづくり研究所
		10:15～ 視覚障害者の移動を支援する情報提供内容に関する考察	藤村万里子	財団法人 国土技術研究センター
		10:30～ 術後片眼遮蔽患者が病室内で夜間に安全に過ごせるための照明の調査	井上賢治	井上眼科病院
		10:45～ 薄暗い歩行空間におけるナビゲーションに関する研究 —アフォーダンス理論による生態心理学的分類の試み—	小野祐太	東洋大学
11:15 ～ 12:30 75分	I 2 B 視覚障害者と誘導支援 ①	11:15～ 兵庫県内の視覚障害者のガイドヘルパー利用の実態調査について	榊原道真	眼の会
		11:30～ デンマークにおける視覚障害者用音サインと歩行環境の報告	武者 圭	UDN J
		11:45～ 交差点横断部の視覚障害者誘導用ブロックに関する調査研究	高橋和哉	社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター
		12:00～ 視覚障害者とガイドヘルパーによる日常移動経路の点検によるバリアフリー情報発信・共有	大塚毅彦	国立明石工業高等専門学校建築学科
		12:15～ 大阪府の支援団体を利用する盲ろう者を事例とした屋外歩行の現状と課題	北野幹夫	大阪役所
13:30 ～ 14:30 60分	I 3 B 視覚障害者と誘導支援 ② 色彩環境	13:30～ 大田区における庁舎ユニバーサルデザイン化の取組み3 —全盲者の誘導案内向上に向けた取組み—	桑波田謙	株式会社クワハタデザインオフィス
		13:45～ 視覚障害者への歩行空間の提示を目的とした感触の異なる床仕上げ材間の識別容易性に関する研究	原 利明	鹿島建設(株) 建築設計本部
		14:00～ 蓄光材料の発光色が癒しに及ぼす影響について	吉本直美	神奈川大学人間科学研究科博士後期課程3年
		14:15～ 色覚特性に配慮したカラーユニバーサルデザインに関する実験的研究 その3: ケアハウス食堂のインテリア色彩への印象評価	志田弘二	名古屋市立大学 大学院芸術工学研究科
14:45 ～ 16:00 75分	I 4 B 災害・震災	14:45～ 中山間地の災害復興住宅における計画特性と高齢者の生活環境に関する研究	山田義文	東洋大学ライフデザイン学部
		15:00～ 特別養護老人ホームにおける火災時の避難行動に関する研究 その1 避難訓練の現状実態に関する基礎調査	村井裕樹	広島工業大学環境学部環境デザイン学科
		15:15～ 特別養護老人ホームにおける火災時の避難行動に関する研究 その2 避難誘導時のエレベータ利用に関する施設職員の意識調査	天野圭子	兵庫県立福祉のまちづくり研究所
		15:30～ 災害時の視覚障害者支援の現状と課題＝東日本大震災被災地・釜石の避難所回りから見てきたこと＝	山本和典	東京都盲人福祉協会

27日(土)		C会場 研修室3			
日時	セッション	演題名		発表者	所属
13:30 ~ 14:30 60分	I 3 C 建築・住環境① (住宅改善・他)	13:30~	作業療法士を中心とした住環境整備業務における職種間の連携の実態 ~回復期リハビリテーション病棟の入院患者の住環境整備に関与する職種へのアンケートから~	澤田有希	首都大学東京大学院人間健康科学研究科
		13:45~	住宅改善におけるセラピスト間の連携	蛭間基夫	群馬パース大学保健科学部 理学療法学科
		14:00~	自宅での居住継続を重視した将来対応型リフォーム事業の効果検証(その3) -対象物件の評価調査について-	佐藤由紀乃	東京電力(株)
		14:15~	宮崎市営住宅における高齢者生活拠点の必要性について-神戸市と和泉市の市営住宅における先進事例から-	岩浦厚信	宮崎市
14:45 ~ 16:00 75分	I 4 C 建築・住環境② (入浴介助・住居安心・他)	14:45~	肢体不自由児のための住環境整備に関する研究(その5 肢体不自由児の類型化と入浴介助の課題)	阪東美智子	国立保健医療科学院
		15:00~	介護施設における機械に頼らない入浴に関する研究~個別浴槽による入浴実践施設の環境・介護・満足度~	間瀬樹省	空間のユニバーサルデザイン総合研究所
		15:15~	居住環境から見た在宅要支援高齢者の水まわりに関する研究	竹中美智子	日本福祉大学
		15:30~	脳卒中片マヒ者の住宅内における転倒の実態および対応状況に関する調査	笹 泰之	摂南大学大学院
16:15 ~ 17:45 90分	I 5 C 建築・住環境③ (UD・海外・他)	16:15~	アンケート調査による高齢化人口減少化が進む地区住民が抱える居住ニーズの把握	絹川麻理	兵庫県立福祉のまちづくり研究所
		16:30~	大型ショッピングセンターにおけるユニバーサルデザイン導入の試み -建築環境におけるユニバーサルデザインの展開とその評価に関する研究-	田中直人	摂南大学
		16:45~	車いす使用者の物販・飲食店利用の実態調査から見た、使える店舗の要件	飛田真人	㈱アークポイント
		17:00~	構築環境のユニバーサルデザイン条例のありかた	古瀬 敏	静岡文化芸術大学
		17:15~	日本・中国・韓国におけるバリアフリー法制度の比較	高橋儀平	東洋大学
		17:30~	香港公営住宅におけるバリアフリー化に関する研究	Catherine Chang	東洋大学大学院福祉社会デザイン研究科

27日(土)		D会場 研修室4		
日時	セッション	演題名	発表者	所属
13:30 ~ 14:30 60分	I 3D まちづくり ③ (UD活動)	13:30~ 世田谷区における区民参加ワークショップの取り組み その2-ユニバーサルデザイン商店サービスガイド作成に関して-	高澤孝一	世田谷区都市整備部地域整備課
		13:45~ 「まちの賑わいはなぜ消えたか」~ユニバーサルデザインとマーケティングの視点から	白石正明	(有)国際プロダクティブ・エージング研究所
		14:00~ 「まちの賑わいをどう復活するか」	白石正明	(有)国際プロダクティブ・エージング研究所
		14:15~ 地方自治体におけるユニバーサルデザインの取り組み状況と行政担当者の意識	田中直人	摂南大学
14:45 ~ 16:00 75分	I 4D まちづくり ④ (啓発・支援・他)	14:45~ ボッチャを通じたUDの普及・啓発と地域づくりについて	齊藤充弘	福島県UD推進協議会
		15:00~ 練馬区福祉のまちづくり総合計画の改定と課題	橋本健太	練馬区
		15:15~ 住民、事業者、区に対する福祉のまちづくりの支援課題	三浦春菜	練馬まちづくりセンター
		15:30~ 高齢者、障害者、子育て中の親の福祉的環境整備に関するニーズについて	平山清美	株式会社アークポイント
15:45~ 有効幅員確保による密集市街地の短期的道路整備方法に関する研究	土屋潤平	日本大学大学院理工学研究科社会交通工学専攻		
16:15 ~ 17:45 90分	I 5D まちづくり ⑤ (ペット・ADL・他)	16:15~ 犬やネコと暮らしやすい地域環境をつくる	壽崎かすみ	龍谷大学国際文化学部
		16:30~ 広島県の海上交通における移動制約者を対象とした施設整備に関する研究 -旅客船ターミナルのバリアフリー整備に着目して-	菅原誠志	日本大学大学院理工学研究科海洋建築工学専攻
		16:45~ BSL4施設の立地と運用に関する概念設計に関する研究	小林貴子	日本大学大学院理工学研究科
		17:00~ 南多摩バリアフリー・アンケートから-ADL評価(FIM)は当事者・家族の困難・バリアーをどれほど押し量れているのか?-	石濱裕規	医療法人社団永生会 地域リハビリテーション支援事業推進室
		17:15~ 浜松市の中山間地域における居住支援の現状と課題について	宮崎幸恵	東海学園大学人間健康学部
		17:30~ 高齢者の地区環境評価意識に関する考察	高井広行	近畿大学工学部

27日(土)		E会場 研修室5			
日時	セッション	演題名	発表者	所属	
10:00 ～ 11:00 60分	I 1 E まちづくり ① (バリアフリー)	10:00～	バリアフリー基本構想策定の各段階における住民参加の考察 ～東京都区市を事例として～	糸谷俊輔	東洋大学 福祉社会デザイン研究科
		10:15～	市民参画による交通バリアフリー推進自治体(豊中市・吹田市・高槻市)の新法対応によるバリアフリーなまちづくりの取組	高橋富美	株式会社建設技術研究所
		10:30～	大規模交差点のバリアフリー整備と住民参加手続きの問題点について	谷内久美子	(財)公害地域再生センター
		10:45～	地下街におけるバリアフリー化に関する研究 ～大阪市の地下街を事例として～	細江太郎	大阪市役所
11:15 ～ 12:30 75分	I 2 E まちづくり ② (設備等)	11:15～	障害者等用駐車スペースの適正利用等の促進に関する調査研究	益森芳成	社会システム株式会社
		11:30～	子育ての視点から見た車いす用トイレ利用に関する一考察	川内美彦	東洋大学
		11:45～	多機能トイレにおけるオストメイト配慮設備の必要スペースに関する調査	熊沢宏夫	TOTO株式会社
		12:00～	外出先の授乳スペースに関する研究	野村優羽子	日本大学大学院理工学研究科
		12:15～	福祉のまちづくりの視点から見たコンビニトイレの現状と課題 -車椅子ユーザーのコンビニトイレ使用可否の検討-	大西祐輝	明石工業高等専門学校大塚研究室
13:30 ～ 14:30 60分	I 3 E 交通・移動 ① (自動車・車両・他)	13:30～	高齢ドライバーの自動車の運転と運転継続に関する地域比較調査	二瓶美里	東京大学大学院
		13:45～	知事連合の高齢者にやさしい自動車開発について	鎌田 実	東京大学高齢社会総合研究機構
		14:00～	国土交通省の地域のニーズに応じた公共交通車両の検討について	鎌田 実	東京大学高齢社会総合研究機構
		14:15～	傾斜地域における外出行動に関する調査分析	今田寛典	広島文化学園大学社会情報学部
14:45 ～ 16:00 75分	I 4 E 交通・移動 ② (公共交通機関)	14:45～	公共交通機関における優先席の基礎調査	松原 淳	交通エコロジー・モビリティ財団
		15:00～	既存施設のバリアフリー化に係る費用及び技術的課題に関する考察	沼尻恵子	財団法人 国土技術研究センター
		15:15～	地方都市のモビリティと地域公共交通政策に関する研究	秋山孝正	関西大学
		15:30～	交通系ICカードをもっとユニバーサルに	井上俊孝	西九州大学健康福祉学部
		15:45～	大阪市営地下鉄の移動円滑化	島 拓造	大阪市交通局
16:15 ～ 17:45 90分	I 5 E 交通・移動 ③ (移動問題・サービス・他)	16:15～	ハンドル形電動車いす乗車拒否問題とは何か	山名 勝	日本福祉のまちづくり学会
		16:30～	鉄道職員による車いす利用者に対する介助に関する研究-社会的勢力から考える満足度-	金塚健太	東洋大学大学院福祉社会デザイン研究科
		16:45～	ベトナムのバリアフリー事情について ～バリアフリーバスの乗車体験とともに～	上野俊行	東京大学大学院総合文化研究科博士課程
		17:00～	介護準備ツアーの試みに向けた取り組み	永吉雅人	新潟県立看護大学
		17:15～	視覚障害者が利用しやすい休憩空間設置に向けた検討と提案	趙みんじょん	兵庫県立福祉のまちづくり研究所

28日(日)		C会場 研修室3			
日時	セッション	演題名	発表者	所属	
9:30 ~ 10:45 75分	II 1 C 教育	9:30~	心の病の人の居住支援のための啓発活動に関する考察ー千葉県松戸市における研修会の開催とその効果ー	蓑輪裕子	聖徳大学短期大学部
		9:45~	園芸活動を用いた地域ネットワークづくり	林 典生	南九州大学環境園芸学部
		10:00~	漫画・紙芝居を利用したユニバーサルデザイン教育の啓発方法に関する研究	大塚毅彦	国立明石工業高等専門学校建築学科
		10:15~	市販ゲームの共用体験による障がいに対するイメージ変容 (第二報)	井手將文	佐賀大学 高等教育開発センター
28日(日)		D会場 研修室4			
日時	セッション	演題名	発表者	所属	
9:30 ~ 10:45 75分	II 1 D 観光① (サイン・マップ・施設)	9:30~	園内施設の子どもに配慮した取り組み状況と今後の取り組み意識ー動物園のユニバーサルデザインに関する研究ー	植田早紀	摂南大学
		9:45~	銀閣寺におけるサインの現状と利用者意識	村澤祐城	摂南大学
		10:00~	郡上市八幡地区の歩行者用サイン	中村豊四郎	アール・イー・アイ株式会社
		10:15~	小豆島の観光地のバリアフリー状況に関する研究	中塚朱未	香川高等専門学校建設環境工学科
		10:30~	観光地におけるトイレ環境の現状と課題	岩坪泰代	福岡医療福祉大学
11:00 ~ 12:30 90分	II 2 D 観光② (宿泊施設・他)	11:00~	電子透かし技術を活用した移動支援システムの一検討	海保裕一	NTTアドバンステクノロジー株式会社
		11:15~	グリーン・ツーリズムにおけるユニバーサルデザインのあり方に関する研究ー岩手県H市における障害者団体の受け入れ事例評価ー	高橋 緑	岩手県立大学大学院社会福祉学研究所
		11:30~	バリアフリー対応でも情報開示しない ホテルの実態	木島英登	木島英登バリアフリー研究所
		11:45~	障害者や高齢者に配慮した観光地における宿泊施設ガイドラインの作成	斉藤 進	産業能率大学情報マネジメント学部
		12:00~	市民主導の観光バリアフリーの取り組みー倉敷市おもてなしマイスター制度の紹介ー	藤田智司	倉敷市建設局

28日(日)		E会場 研修室5			
日時	セッション		演題名	発表者	所属
9:30 ~ 10:45 75分	II 1 E 地域社会① (子供・買 い物・外 出・他)	9:30~	乳幼児連れが利用しやすい店舗に関する研究 - 百貨店・ショッピングセンターを中心として-	神吉優美	東洋大学ライフデ ザイン学部
		9:45~	障害者団体への買い物アンケート結果と企業の取 り組みのギャップ対策	伊藤順子	UDほっとねっと四 日市
		10:00~	過疎山村地区に居住する高齢者の外出先の特徴と 生活交通の構築 - 島根県益田市種地区を事例に -	丹間康仁	筑波大学大学院
		10:15~	生活交通サービスの再構築が地域住民の生活の質 的向上に与える影響	吉田 樹	首都大学東京
		10:30~	中山間地域に居住する高齢者の地域生活とQOL評 価	三宮基裕	九州保健福祉大学
11:00 ~ 12:30 90分	II 2 E 地域社会② (地域活動)	11:00~	高齢者と地域を結びつける「縁側サービス」 - その1 パターン分析	福田菜々	北海道工業大学
		11:15~	高齢者と地域を結びつける「縁側サービス」 - その2 釧路市「わたぼうしの家」の試み	片山めぐみ	札幌市立大学
		11:30~	高齢者と地域を結びつける「縁側サービス」 - その3 台湾と中国における「社区」が果たす 役割 -	陸 堃	北海道情報大学
		11:45~	バリアフリー市民ワーキンググループの活動と継 続に関する研究 - 市原市を例として (1) -	斉藤 彩	ランドブレイン株 式会社
		12:00~	バリアフリー市民ワーキンググループの活動と継 続に関する研究 - 市原市を例として (2) -	安田悠治	日本大学大学院

27日(土)		F会場 ホワイエ			
日時	セッション	演題名	発表者	所属	
16:00 ～ 17:45 105分	ポスター セッション	P-1	ICTを活用した温泉街のユニバーサルデザイン改善	榊原直樹	株式会社ユーディット
		P-2	介助・介護を必要とする旅行者への支援事業に関する一考察	新谷陽子	社団法人北海道開発技術センター
		P-3	北海道における居住地外給付に関する自治体の運用手法についての一考察	工藤みゆき	社団法人北海道開発技術センター
		P-4	リユース可能な木とアルミを使ったモジュラー・ジョイントシステムによる座位保持装置と遊具のデザインと開発	繁成 剛	東洋大学 ライフデザイン学部
		P-5	作業療法訓練における動作計測装置の開発	李 虎奎	兵庫県立福祉のまちづくり研究所
		P-6	聴覚障害学生支援における支援者と被支援者の心理的なギャップに関する研究	志磨村早紀	早稲田大学 人間科学部
		P-7	高齢者等居住安定化に関する研究ーICTを活用した高齢者見守りシステムー	生田英輔	大阪市立大学 大学院生活科学研究科
		P-8	インタビュー調査からみた高齢者が愛着を持つ近隣環境に関する研究	加藤悠介	豊田工業高等専門学校
		P-9	重度心身障害児(者)の地域生活継続に向けた保護者の活動と地域住民のサポートについて	牛木彩子	国際医療福祉大学
		P-10	高齢者居住世帯の多い斜面住宅地における住民の防災意識とコミュニケーションによる防災教育に関する研究	山岡俊一	呉工業高等専門学校
		P-11	地域福祉計画に見る災害時要援護者支援制度	瀬尾 潔	せお福祉まちづくり計画
		P-12	屋外歩行面による歩きごちの検討-脳波の発現状況から-	瀬戸眞弓	日本工業大学
		P-13	大学キャンパスにおけるバリアの調査情報整理と更新システムの試み(その1)	名川 勝	筑波大学大学院人間総合科学研究科
		P-14	既存木造住宅と車いすの関係性に着目した住環境整備指標の構築に関する研究	室崎千重	兵庫県立福祉のまちづくり研究所
		P-15	ケア連携型バリアフリー改修補助事業における改修効果	馬場昌子	関西大学環境都市工学部
		P-16	ユニバーサルデザインを用いた院内環境の整備	藤本 悠	大阪大学医学部附属病院
		P-17	安全技術を導入した搭乗型生活支援ロボットを用いた地域モビリティの向上	猪井博登	大阪大学 大学院 工学研究科
		P-18	白杖を用いた視覚障害者誘導用線状突起形状の検出に関する研究ー視覚障害者のための屋内誘導システムに関する研究(その2)ー	柳原崇男	近畿大学理工学部社会環境工学科
		P-19	ハンドル形電動車いすの通路走行に関する基礎的研究(その3)	石橋達勇	北翔大学人間福祉学部
		P-20	視覚障がい者に対する自転車の影響に関する研究 ～主に盲導犬ユーザーを対象として～	鹿野たか嶺	社団法人 北海道開発技術センター
		P-21	単独行動可否からみた知的・精神障がい者の交通行動特性に関する基礎的研究	三村泰広	公益財団法人豊田都市交通研究所
		P-22	都市部に居住する閉じこもり高齢者の特性とまちづくりに関する考察	橋本美芽	首都大学東京 健康福祉学部
		P-23	鉄道利用における高齢者の外出意識に関する考察	天野圭子	兵庫県立福祉のまちづくり研究所
		P-24	GPS機能を付加した歩行車システムの提案	池内秀隆	大分大学工学部
		P-25	「不安」を解消するまちづくりの考察ー「福祉のまちづくり」の概念の再整理ー	磯部友彦	中部大学 工学部 都市建設工学科



お客様との共生をめざして

～人と環境にやさしい製品のご提供をいたします～

① ガイドウェイブロック

UNIVERSAL
DESIGN

ユニバーサルデザイン

② ファイバーサイン



⑤ バリアントール



③ デリパルスKT-SD3

④ インターロックライト

BARRIER FREE

バリアフリー

公共環境を表現する
株式会社キクテック

URL <http://www.kictec.co.jp>

本 社	〒457-0836 名古屋市南区加福本町1丁目26番地	☎ 052-611-0680
東京本社	〒102-0093 東京都千代田区平河町2丁目12番5号	☎ 03-3586-9788
中部事業所	〒470-2295 愛知県知多郡阿久比町大字卯坂字梅ヶ丘150番地	☎ 0569-48-1145
支店/営業所	東京・大阪・愛知・静岡・三重・岐阜 / 札幌・室蘭・盛岡・仙台・埼玉・横浜 新潟・長野・浜松・知多・豊橋・金沢・兵庫・西日本・広島・九州・熊本	

世界に誇れる技術と英知で
安全で潤いのある
豊かな社会づくりに挑戦する



信頼と技術で
心をつなぐ環境づくり

CTi 株式会社 **建設技術研究所**

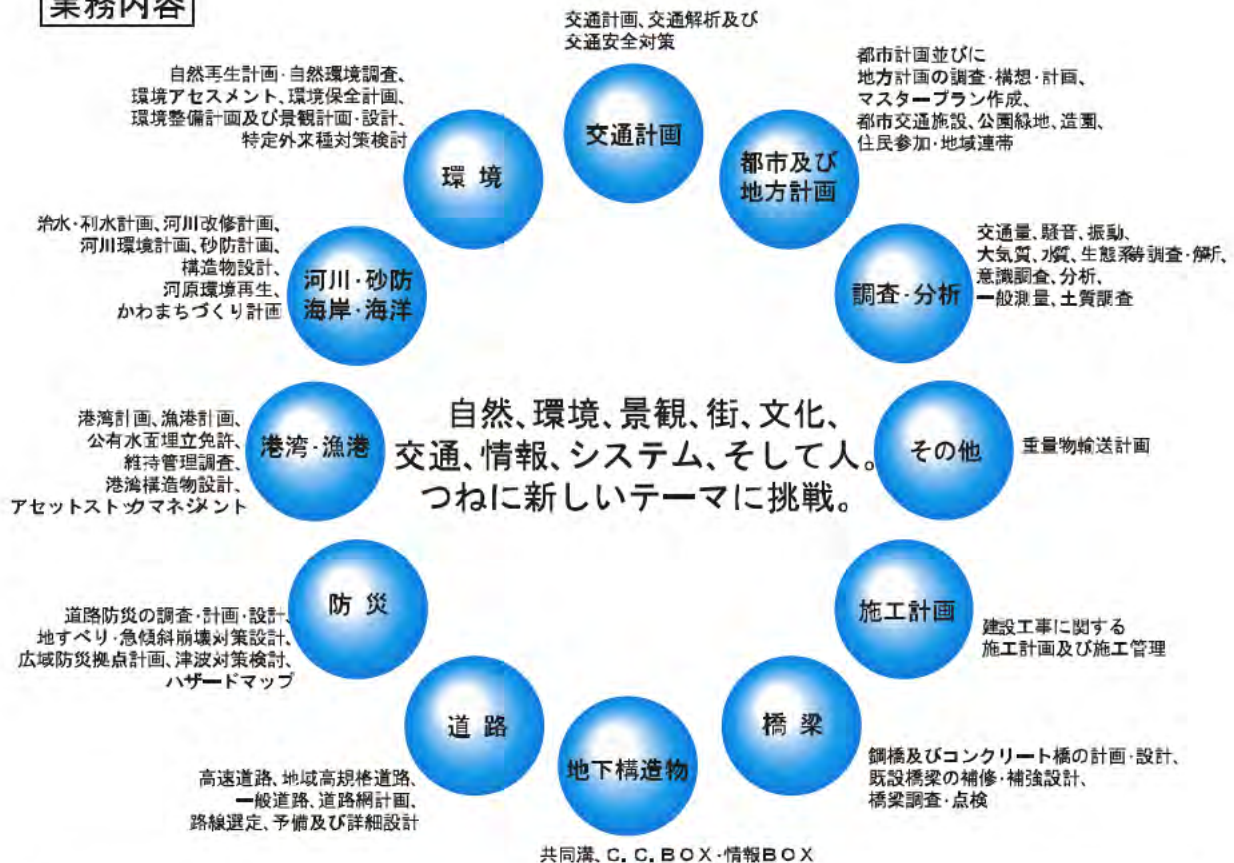
本社：〒103-8430 東京都中央区日本橋浜町3-21-1 TEL.03-3668-0451(代)

E-mail.koho-2007@ctie.co.jp <http://www.ctie.co.jp/>

私たちは 総合的なコンサルティング業務と 幅広いマネジメントサービスを 展開しています。

高度経済成長期におけるスクラップ&ビルドの考え方など、
これまで社会資本を整備するにあたり安全性と経済性が追求されてきました。
しかしながら、地球環境問題や社会環境の変化などから社会資本整備の考え方も変わりつつあります。
今日、地球規模での経済性と環境への優しさが不可欠な時代を向かえました。
私たちはこれから技術の研鑽によって、人と地球のために、ハイセンス&ハイクオリティを基本に、
社会と時代のニーズに即した新しいテーマに挑戦しつづけます。

業務内容



快適な国土をデザインする
株式会社 修成建設コンサルタント

平成23年9月12日をもって新社屋に移転します。

現住所 〒533-0003
大阪市福島区鷺洲2丁目5番15号
電話番号 06-6452-1081(代表)

新住所 〒530-0055
大阪市北区野崎町7番8号
梅田パルク 18階

電話番号
代表 06-6367-3800
技術1部 06-6367-5610
技術2部 06-6367-5620

おかげさまで
平成24年4月15日をもちまして
創立50周年を迎えます。



情報を通じて、
暮らし、社会、未来を豊かにします。

全国ネットワーク

マーケティング・リサーチ
Marketing Research

- 消費者調査 ● 顧客(満足度)調査
- 社員(満足度)調査 ● 商品評価調査
- 店舗・施設利用満足度調査
- サービス利用満足度調査

都市・交通計画調査
Research for City Planning
Traffic System Planning

- 交通量調査 ● プロープ調査
- OD調査(アンケート法) ● OD調査(配布法)
- 施設利用者アンケート調査 ● 施設調査
- 住民・生活者アンケート調査
- 大店立地法届出関連調査

社会・世論調査/計画策定
Opinion polls/Policy Planning

- 国・県・市区政 ● 健康・福祉・食育・医療
- 環境・防災・災害
- 産業・観光・地域ブランド
- 中心 市街地・まちづくり
- 共同 参画・協働・学習・人権
- 統計 調査

インターネット/システム

SRC 株式会社 **サーベイリサーチセンター**
SURVEY RESEARCH CENTER CO.,LTD.

本社 東京都荒川区西日暮里2丁目40番10号 〒116-8581
TEL: (03) 3802-6711 (大代表) FAX: (03) 3802-6730
ホームページ <http://www.surece.co.jp/>

田端事務所、東北事務所、静岡事務所、
名古屋事務所、大阪事務所、岡山事務所、
広島事務所、四国事務所、九州事務所

実行委員スタッフ

・大会長	三星 昭宏	(近畿大学)
・顧問	末田 統	(兵庫県立福祉のまちづくり研究所)
・実行委員長	新田 保次	(大阪大学大学院)
・実行副委員長	相良 二郎 岡田 明	(神戸芸術工科大学) (大阪市立大学大学院)
・監事	藤村 安則	((株) 修成建設コンサルタント)
・実行委員		
[企画]	相良 二郎 鈴木 義康 石塚 裕子 細江 太郎 高野みのり 小西 弘朗 藤江 徹	(神戸芸術工科大学) (日建設計総合研究所) (大阪大学大学院) (大阪市港湾局) (京阪電気鉄道 (株)) (パシフィックコンサルタンツ (株)) ((財) 公害地域再生センター(あおぞら財団))
[論文]	岡田 明 糟谷 佐紀 西岡 基夫 美濃 伸之	(大阪市立大学大学院) (神戸学院大学) (大阪市立大学大学院) (兵庫県立大学)
[運営]	松村 暢彦 柳原 崇男	(大阪大学大学院) (近畿大学)
[広報・渉外]	北川 博巳 大島 明 竹林 弘晃 野村 貴史 辻 一	(兵庫県立福祉のまちづくり研究所) (国際航業 (株)) ((株) 建設技術研究所) ((株) キクテック) ((社) 大阪脊髄損傷者協会)
[事務局]	飯田 克弘 猪井 博登 室崎 千重 天野 圭子	(大阪大学大学院) (大阪大学大学院) (兵庫県立福祉のまちづくり研究所) (兵庫県立福祉のまちづくり研究所)